

いよいよ今回は、前号で作成した模様合成された「製図ファイル」を使って実際に編む練習をします。

対話式編み方

編機にシルバーリンク4のケーブルを接続し電源を入れます。パソコンと編機がケーブルで接続され、各々の電源が入っていることを確認します。



「対話式編み方」を選択します。

1. 「対話式編み方」ダイアログが表示されます。

「製図ファイルを開く」ボタンをクリックすると「製図ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

使用するファイルを選択し → 「OK」

2. 「作品の製図部分」ダイアログが表示されます。

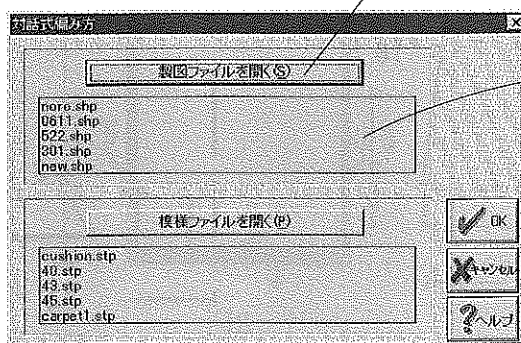
編む部分を選択し → 「OK」

3. 「対話式編み方」ダイアログが表示されます。

「模様と合成」を選択し → 「OK」 ※模様合成されていない場合は、4.の画面が表示されます。

4. 画面が表示されます。

ここをクリック



※最近使用したファイルが、5つまで表示され、使いたいファイルがあれば、選択する

段数計が表示され下欄には、完成に必要な最大数が表される

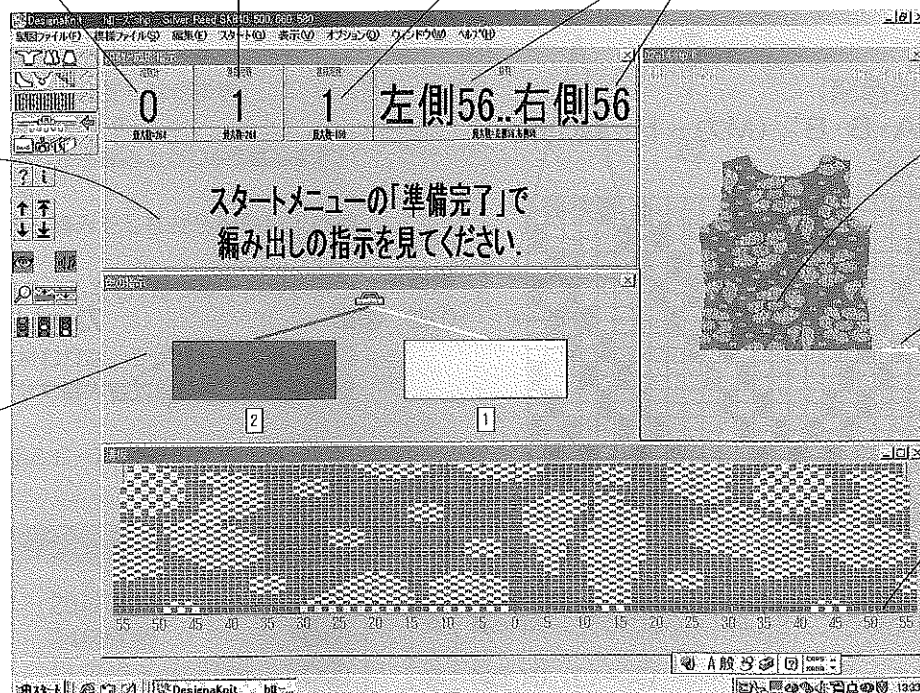
次に編まれる製図段数が表示され下欄には、完成までの段数が表示される

次に、編まれる模様段が表示され下段には、模様サイズで段数が表示される

編成中の針数が表示され、下欄には、最大幅の針数が表示される

「成形指示」
作業する所までの残り段数や増減目数など適時表示される

「色の指示」
1……地色
2……配色



「成形表示」
模様は編機で編成される手前と同じ向きに表示される

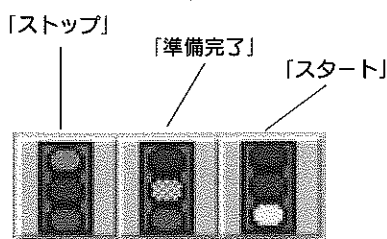
キャリジ位置

「溝板の表示」
間隔の広い所がこれから編む段、見にくいときは、「溝板ズーム」で変更する

5. 「オプション」メニューの「編機」を選択します。

- ① 「使用する編機を選択する」ダイアログが表示され「Silver Reed SK840, 500, 560……」を選択し、右上の「設定」をクリックします。
- ② 「Silver Reed SK840, 500, 560, 580の設定」ダイアログが表示され「シルバーリンク4を探す」をクリック
- ③ 「おしらせ」ダイアログが表示されCOMに検知したことが表示されます。
「OK」 → 「OK」 → 「OK」 → 4の画面に戻ります。

6. 「準備完了」ボタンをクリックします。



- ① 「キャリジの同期準備」ダイアログが表示されます。指示に従い操作を行い → 「OK」 (キャリジ位置確認します)
- ② 「編成開始」ダイアログが表示されます。指示に従いポイントカムをセットします。 → 「OK」 (ポイントカムの位置は、最大幅になります)
※OKをクリックすると自動的に「スタート」ボタンが機能します。

③ 4.の画面に戻り、「溝板の表示」の欄に「ダウンロード」が開始します。(シルバーリンク4に模様と合成された製図をダウンロードします。)

ダウンロードが終了してから画面の指示に従って編みます。

※成形指示が「ハイライト」中や「警告音」中は、キャリジを動かさないでください。

④ ネックラインなど左右分かれるときは、片方が終了してから「準備完了」ボタンをクリックし、指示を確認して次の片方を編みます。

7. 編成中に、まちがえてほどくときや、途中で終了したいときは、「ストップ」ボタンをクリックします。

電源を切っても、次に再開するときは、停止した位置に戻ります。

8. 次の製図部分を編むとき

「製図ファイル」メニューをクリックし、「製図の選択」を選択します。

「作品の製図部分」のダイアログが表示されます。

編む部分を選択し → 「OK」

次の作業は、前述の3からのくり返しになります。

シルバーリンク4のランプ

電源用のランプは、1つは通電中、緑色に点灯します。もう片方は、編成中キャリジがポイントカムの内側に入ると選針及び非選針が色変化し、外側に出たとき消えます。